

令和8年度より運用開始予定の 気象防災速報(線状降水帯直前予測)について

令和7年12月 気象庁 大気海洋部

線状降水帯の予測精度向上に向けた取組（情報の改善）

観測の強化、予測の強化により、線状降水帯に関する情報の段階的な改善を実施しています。

- ・ 令和8年から、2～3時間前を目標にした予測情報を提供予定
 - ・ 令和11年から、半日前に市町村単位で線状降水帯発生の可能性が把握可能な分布形式の情報を提供予定
- 情報のリードタイムを伸ばし、また、情報の発表の対象地域を狭めることで、国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていきます。

「迫りくる危険から直ちに避難」→情報のリードタイムをのばす

発生情報

令和3年

線状降水帯の発生をお知らせする情報

令和5年

最大30分程度前倒し

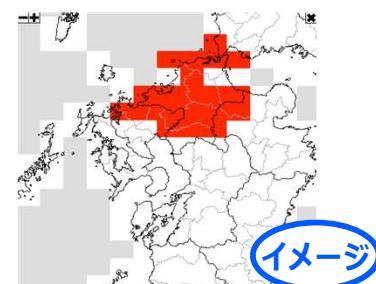


線状降水帯の雨域を楕円で表示

直前予測

令和8年

2～3時間前を目標に予測情報を発表



イメージ

補足情報として、線状降水帯による大雨の恐れがある大まかな領域を図情報で表示（予定）

半日前予測

令和4年

地方単位で予測

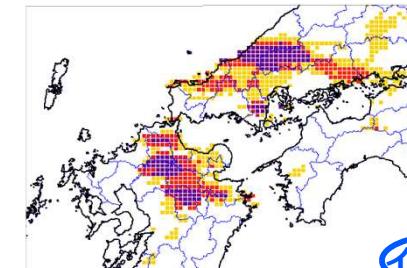
令和6年

府県単位で予測

↓ さらに対象地域を狭める

令和11年

市町村単位で把握可能な危険度分布形式の情報を提供



イメージ

線状降水帯発生の可能性が把握可能な分布形式で表示（予定）

線状降水帯に関する情報の位置付け

線状降水帯発生の可能性あり

～半日程度前

線状降水帯に関する情報

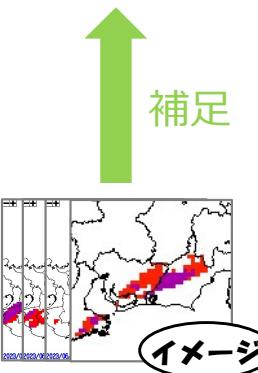
気象解説情報(線状降水帯半日前予測)

内容：線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ

R4 地方単位で呼びかけ

↓ R6 府県単位で呼びかけ

↓ R11 線状降水帯による大雨のおそれが高い領域を半日前からメッシュ情報(市町村単位)で提供予定



補足

住民に求められる行動

大雨に対する心構えを一段高め、避難準備等、災害に備える

明るいうちから早めの避難

線状降水帯発生の可能性高まる

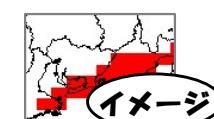
～3時間前

気象防災速報(線状降水帯直前予測)

内容：線状降水帯による大雨発生の確度が高まったことをお知らせ

R8 お知らせ開始(予定)

- ・線状降水帯による大雨のおそれのある大まかな領域を最大3時間前から提供予定



補足

レベル4危険警報が発表されるタイミングと近いことから、周辺状況や自治体の避難情報等もふまえ、避難など適切な対応行動をとる

気象防災速報(線状降水帯発生)

内容：線状降水帯の発生をお知らせ

R3 お知らせ開始

- ・線状降水帯の雨域を楕円で表示

↓ R5 最大30分前倒してお知らせ開始

R8 図情報(楕円表示)を更新予定



補足

自治体からの避難情報や周辺状況を確認し、速やかに安全確保

迫りくる危険から直ちに避難



30分前～現在

時間

気象防災速報(線状降水帯直前予測)の概要 (文章情報・図情報)

気象防災速報(線状降水帯直前予測)

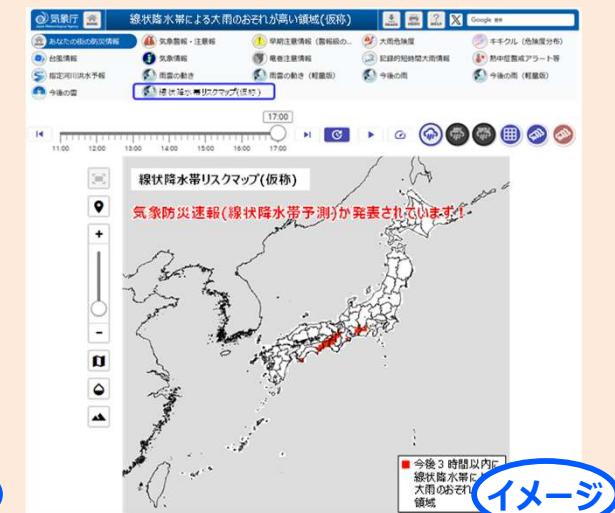
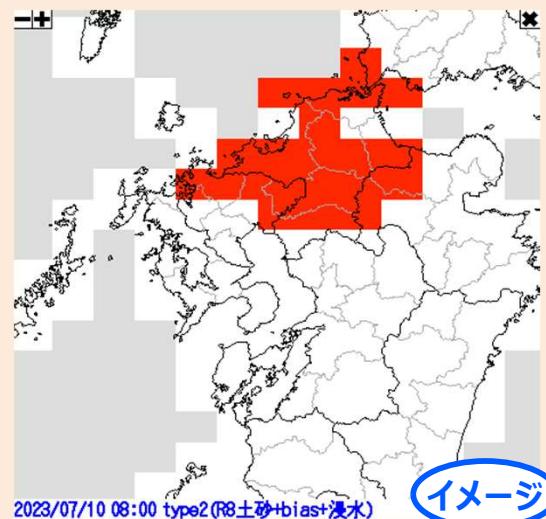
- 今後3時間以内に、線状降水帯の発生により非常に激しい雨が降り続く可能性が高まった場合に発表します。
- 一次細分区域を対象に発表します。

○○県気象防災速報(線状降水帯直前予測) 第1号
令和○年○月○日○○時○○分 ○○気象台発表
(見出し)

○○県●●(一次細分区域)では、今後3時間以内に線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が同じ場所で降り続く可能性が高まっています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まるおそれがあります。

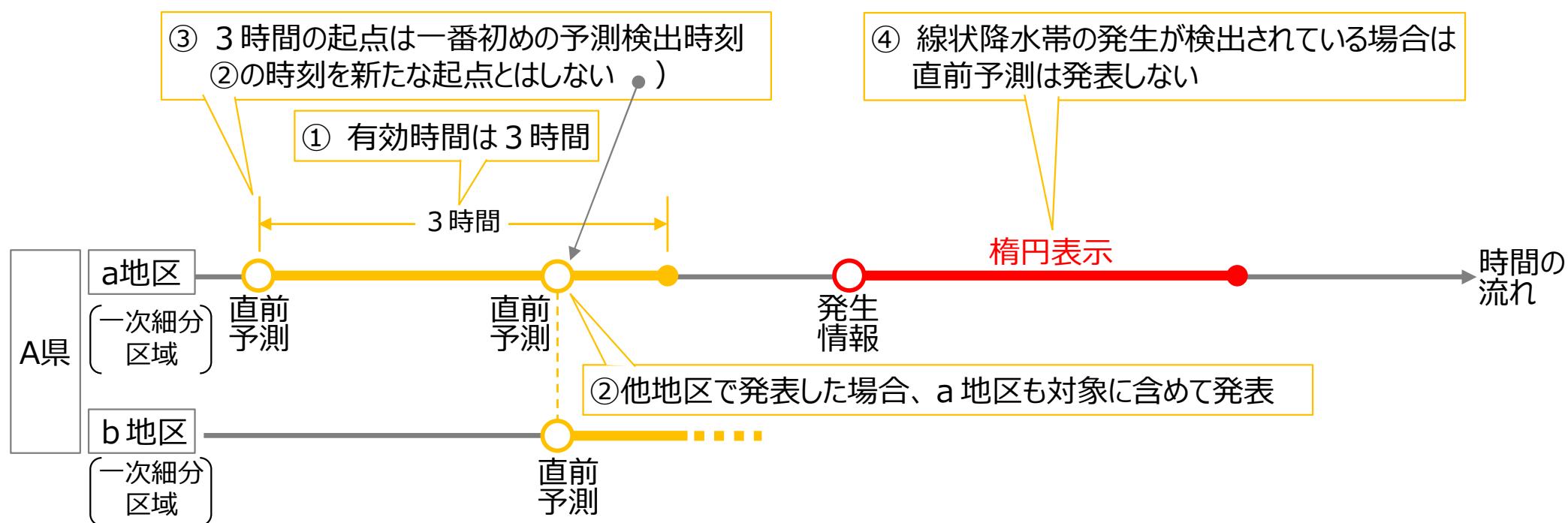
線状降水帯予測マップ(仮称)

- 文章情報を補足するものとして、最大3時間先までに線状降水帯による大雨のおそれのある大まかな領域をメッシュ情報で提供します。
 - 文章情報の対象地域にあっては、線状降水帯発生のおそれのある領域を確認し、防災対応につなげてください
 - 文章情報が発表されていなくとも、メッシュ表示されている場合は線状降水帯発生のおそれがあることから、今後の防災気象情報に留意してください



気象防災速報(線状降水帯直前予測)の情報発表のルール

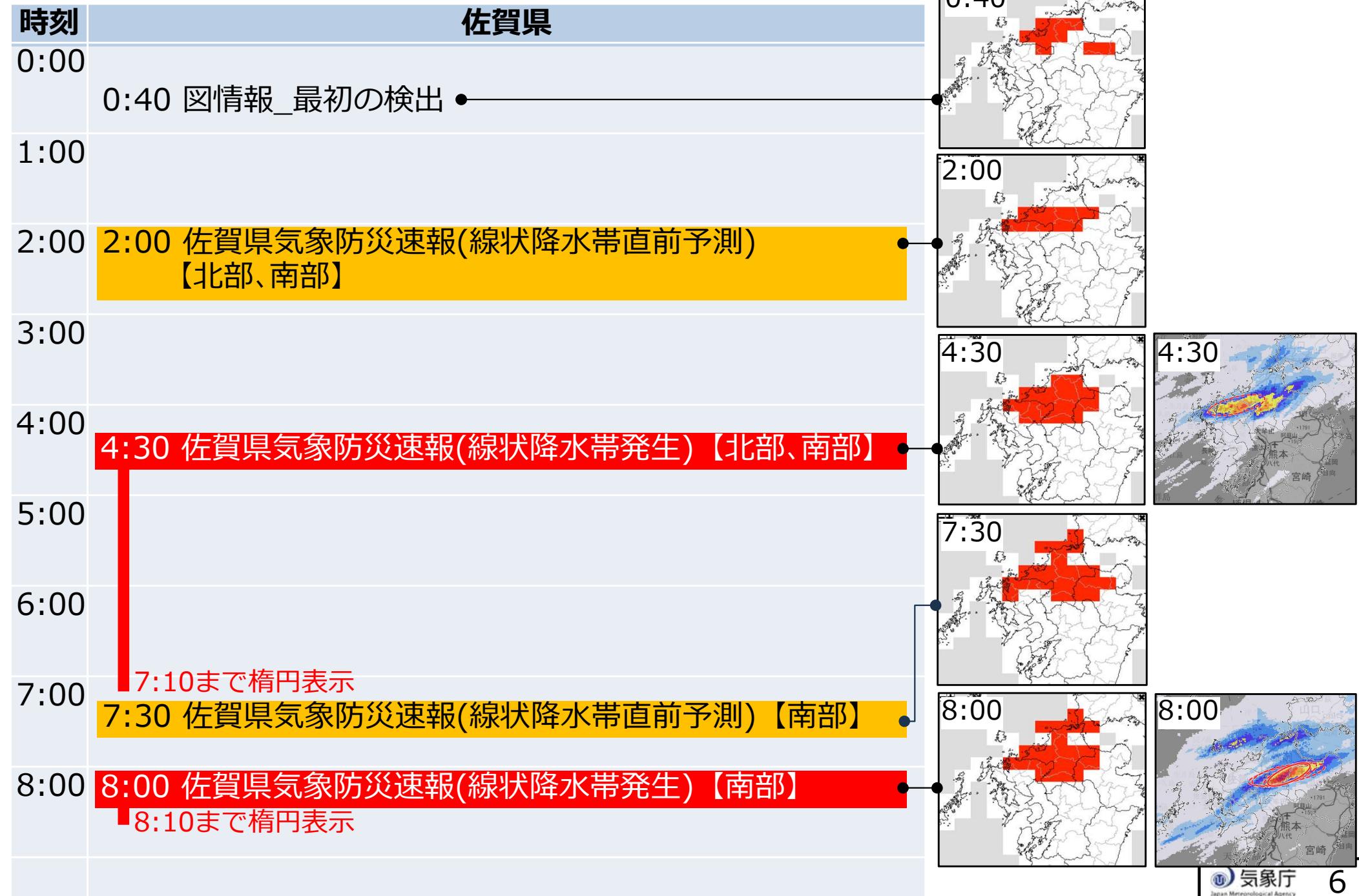
- ① 一つの一次細分区域で発表される気象防災速報(線状降水帯直前予測)（以下「直前予測」）の有効時間は3時間とする（同じ一次細分区域で再度基準を満たしても、3時間以内は発表しない）
 - ② 直前予測を一度発表した後、3時間以内に同一の府県予報区の別の一次細分区域で新たに発表基準に達した場合のみ、再度、情報を発表する
 - ③ 直前予測の起点は、該当する一次細分区域で一番最初に発表された時刻とする
(条件②で再度発表した時点を起点としない)
 - ④ 線状降水帯が予測された時点で、すでに線状降水帯の発生が検出されている場合は、直前予測は発表しない



線状降水帯に関する情報発表の事例

■ 2023年7月10日 佐賀県の事例

佐賀県



線状降水帯
リスクマップ (仮称)

